

福祉建設経済委員会記録

環境福祉経済委員会
委員長 田邊 学

- 1 日 時 令和4年12月23日(金) 開会:10時33分 閉会:10時43分
福祉保健部
- 2 場 所 光市議会第1委員会室
- 3 出席委員 大田 敏司、河村 龍男、小林 隆司、笹井 琢、田中 陽三、田邊 学、
中村 譲、萬谷 竹彦、森戸 芳史
- 4 事務局職員 市川 恵美、起本一生
- 5 説明員
吉本副市長
福祉保健部 松村福祉保健部長、加川福祉保健部次長兼高齢者支援課長、田中健康政策担当次長兼健康増進課長兼新型コロナウイルスワクチン接種対策室長、温品子ども家庭課長、和久子ども相談担当課長
- 6 議事の経過概要 別紙のとおり
- 7 その他(傍聴) 市議会モニター

1 福祉保健部関係分

(1) 付託事件審査

①追加議案第70号 令和4年度光市一般会計補正予算(第8号)〔所管分〕

説 明：温品子ども家庭課長 ～別紙

質 疑

○森戸委員

伴走型相談支援ということなんですけど、先ほどの説明では、出産時等に面談をするというお話がありましたが、それが伴走型相談支援になるのか、それ以外に、今までのきゅっと等含めた相談体制プラス、このお金に関する部分だけではなくて、さらに何かあるんですかね、その伴奏型の相談支援という新たな体制が。

○和久子ども相談担当課長

伴走型相談支援につきましては、妊娠時から全ての妊婦、子育て家庭に寄り添いまして、そこで関係機関とも情報共有をしながら、出産、育児等の見通しを立てるための面談、この面談のときには、子育てガイドというものであったり、アンケート、育児に不安などはありませんかというようなアンケートを利用しまして、その都度その方のニーズに応じた子育て支援サービスの提供を一緒に考えたり、皆さんに育児に関する情報発信を行ったり、必要な方には随時相談に応じたりという形で、その個人個人のニーズにあった必要な支援につなげるものとなっております。

○森戸委員

それが新たに今回追加されたというような意味合いになるんですかね。

○和久子ども相談担当課長

今までも健康増進課のほうで妊娠届を受け付けた際には、面接等は行っておりましたが、それに加えて、このたびは経済的支援が加わったというような形になります。

○森戸委員

了解しました。光市の体制としては既にできていたようなお話だと思いますので、より充実をしていくということであろうかと思っておりますので、これからも引き続きよろしくお願いたします。

○河村委員

今回こういう形で子育ての支援をしようということですが、本来であれば国が10分の10でよかったと思うんですが、何かその6分の1の負担割合について意味があるんですか。

○松村福祉保健部長

国から示された資料の中で、なぜ国が3分の2なのか、県が6分の1なのか、市町村に負担を求めるのかという辺りまでの明確な説明というものはございませんので、国のほうの考え方とすれば、一過性のものではなく、今後も継続していきたいという意向があるように聞いておりますので、それに応じて地方自治体にも負担を求めてきたものと推察しております。

以上でございます。

○河村委員

ここでの議論が有効ではないと思いますが、本来であれば、こういった時期に補正まで組んでやろうという話ですから、国がそういったものは全て面倒を見るというのが普通だと解釈をします。正規であれば新年度予算でしっかり説明をして、そういった支援に当たることが普通だと思いますので、その辺りについては、よく県や国にも意見を申し上げて、納得のいくような形で支援をしていただきたらと思います。

以上です。

○大田委員

これは、10万円と5万円ちゅうのは現金支給なんですか。

○和久子ども相談担当課長

はい、現金支給となります。

○大田委員

それは振込なんですか。手渡しなの。

○和久子ども相談担当課長

口座に振り込むことを予定しております。

○大田委員

そのとき、手数料というのはどういうふうになる。

○和久子ども相談担当課長

手数料もこのたびの補正予算に計上をしております。

○大田委員

この104円がそうですか。じゃなかった10万4,000円。

○和久子ども相談担当課長

そのとおりでございます。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」